

# 健全財政の維持を要請

## 総務常任委員会

付託事件  
一般会計（議会費、総務費、民生費、衛生費、商工費、消防費、教育費）、国保会計、老保会計、介護保険会計

**Q** 河川等の水質検査の結果について、問題となるようなことはなかったか。  
**A** 検査の結果は、「全体的には、基準値内の数値であり、比較的清浄な水質を維持している」とみなされる」という報告である。

**Q** 収入未済額が増えているが、その徴収対策はどう考えているか。  
**A** 新たな滞納者を出さないよう、努力しているが、13年度で数件増えてきている。徴収対策は今後も努力していく。

**Q** 女性の広場の結成数と未結成集落への推進は、25団体が結成されている。未結成集落への加入促進は行っているか。  
**A** 女性の広場の結成数と未結成集落への推進は、25団体が結成されている。未結成集落への加入促進は行っている。



健全財政を維持しながら行政サービスの向上が求められている

今後の財政運営の見通しとその対策はどう考えているか。  
**A** 地方交付税も削減されてきている。補助事業等の検討や経費の切り詰め、削減を行う必要がある。

**Q** 教職員住宅管理の件で、柏原の2戸の内、1戸が使用されていないが、今後の対応はどうか。  
**A** 使用されていないのは柏原区公民館横の1戸である。柏原区コミュニティセンター建設の関係や、2戸は移設もできない状態なので撤去の計画である。

**Q** 公債費比率が上昇しているが、今後の状況はどうなのか。また、財政が硬直化しているが、起債許可制限比率は何%か。  
**A** ピークは16年度であるので、起債事業を検討し計画していかねばならない。12・4%である。

**Q** 公債費比率が上昇しているが、今後の状況はどうなのか。また、財政が硬直化しているが、起債許可制限比率は何%か。  
**A** ピークは16年度であるので、起債事業を検討し計画していかねばならない。12・4%である。

**Q** 定住促進制度について、今後合併の関係もあり転入に対する助成の見直しはどうか。また、

助成金の返還についてはどうか。  
**A** 転入の実態及び財政状況等からも検討したい。返納対象は10件で117万5千円である。13年度は3件55万円の返還があった。催告状を出すなど努力はしている。今後も引き続き対応していく。

# 委員会で慎重・審議

各委員会に付託された6会計について決算の審査をしました。主な質疑及び答弁の概要は次のとおりです。（関連13P）

## 質疑及び答弁の概要

**Q** 今後、高齢者等も多くなり遊休地が増えてくるが、農業委員会としての施策はないか。  
**A** 具体的には考えていないが、農業支援団体等が出来てくればいいと思う。委員さん方には担当地区の状況を管理していただくよう依頼してある。

**Q** ほたる公園について、地元から青少年の溜まり場、夜は駐車場になつている話を聞くが、この施設の目的・利用はどうか。  
**A** 県庁の事業を利用した作つたが、利用率も少なく管理面等でも苦慮している実情である。今後は利用と管理を含めて集落とも協議して進めていきたい。

**Q** 農林業施設災害復旧事業として採択になる基準はあるのか。  
**A** それぞれの箇所では異なるが、国の場合40万円以上、それ以下は対象とならない。農地の場合、限度面積はないが事業費の限度額を超えたものは自己負担となる。



住宅マスタープランの計画と可能性が求められている（つるだ駅ニュータウン）

**Q** 住宅マスタープランの効果と今後の計画・可能性は。  
**A** 現在、湯田原地区を分譲宅地の可能性調査を行っている。電源跡地は土地開発公社で取得をしていく。今後はブ

住宅マスタープラン

## 実施計画策定を要請

## 経済建設常任委員会

付託事件  
一般会計（農林業費、土木費、災害復旧費、中央簡水会計、簡水会計）

ランの中にある四つの柱を基に、財政とも協議しながら開発公社も入れて進めていきたい。

**Q** 作業班をもう1班増やすことは考えていないか。  
**A** 年々公共事業も減る中で、商工業・建設会社等も苦しい現状である。そのようなこともあり、現在は検討していない。

**Q** 給水申し込みをする時点で未納期間限度等を定めた誓約書を取り交わす必要があるのではないか。  
**A** 現在、申込み用紙はなく申込みみに来られて開栓手数料を収めていただければ使用できるようになってきている。今後は様式を検討していきたい。